

〔科目名〕 法律と人間	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 教養科目 第2群(文化と社会)
〔担当者〕 廣瀬 孝壽 HIROSE, Koji	〔オフィス・アワー〕 時間: 場所:	〔授業の方法〕 講義形式中心
〔科目の概要〕 本科目では、法律学を学ぶ学生のため、法律学の基礎知識及び学び方について講義する。講義が中心であるが、可能な限りアクティブラーニング(双方向の対話やグループワークなど)を行う。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 法律には、事件・事故を起こさないために予防する役割、そして、起きたときに解決する役割がある。よい社会にするために必要な法律を考えていただく。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 法律学の基礎的な内容を説明できる。 法的課題について法的三段論法で説明できる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 今年度より担当する。		
〔教科書〕 富永晃一ほか著『実践への法学入門(第2版)』(中央経済社、2022年)		
〔指定図書〕 指定しない		
〔参考書〕 指定しない		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 定期試験にて評価する。		
〔評価の基準及びスケール〕 定期試験(100%)		

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

学生は、ノートパソコンを持参して、調査すべきときは調査に集中し、対話すべきときは対話するなど、集中して積極的に参加する。

〔実務経歴〕

該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): 法律学の導入的説明 内 容: 法律学の導入的説明 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 法とは何か 内 容: 「第1章 法とは何か」の講義 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 法の構造 内 容: 「第2章 法の構造」の講義 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): 法的三段論法 内 容: 「第3章 法の適用(1) 法的三段論法」の講義 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 解釈 内 容: 「第4章 法の適用(2) 解釈」の講義 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 判例、学説、行政解釈 内 容: 「第5章 判例、学説、行政解釈」の講義 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): まとめの解説 内 容: これまでの練習問題と解説 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 法分野の概観 内 容: 「第6章 法分野の概観」の講義 教科書・指定図書
第9回	テーマ(何を学ぶか): 調査と発表 内 容: 「第7章 調査と発表」の講義 教科書・指定図書

第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):判例の読み方、調べ方</p> <p>内 容:「第8章 判例の読み方、調べ方」の講義</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):判例の射程</p> <p>内 容:「第9章 判例の射程」の講義</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):解釈の限界</p> <p>内 容:「第10章 解釈の限界」の講義</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):論述問題</p> <p>内 容:「第11章 論述問題解説」の講義</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):総合問題</p> <p>内 容:「第12章 総合問題解説」の講義</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめの解説</p> <p>内 容:これまでの練習問題と解説</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>定期試験(選択記述式を予定)</p>